



うめがおか

考える子 元気な子 助け合う子

世帯数配付
美浜町立河和小学校
学校だより
令和7年9月2日

『チャレンジ』

1年主任 ○○ ○○



「僕は逆上がりができないけど、頑張って練習してる！」
1学期の道德の授業で“がんばっていること”を聞いたとき、ある子がこのように発言しました。「できないことをできるように練習する」素晴らしいことだと思いました。たくさんの子が大きなチャレンジ精神をもっていると感じました。

長い夏休みが終わりました。楽しく元気に過ごすことができましたか？旅行に出かけた人、家でしっかり勉強した人、花火や海に行くなど夏らしいことをした人、色々だと思います。そして、夏休みに何かに“チャレンジ”しましたか？海やプールで泳ぐ練習をしたり、興味のある自由研究に挑戦したりした人もいないかもしれません。私は昨年度から“ピアノ”と“漢字検定”にチャレンジしています。ピアノは校歌を弾けるようになりたいと思い、始めました。ドレミの音もほとんど分からない状態から始めましたが、なんとか校歌を弾けるようになり、いろいろな曲を弾けるように現在も練習しています。漢字検定は中学生の時に2級を受け、不合格でした。ふと、再チャレンジをしたいと思います、昨年度の2月に受検し、合格することができました。現在は準1級にチャレンジするために勉強を続けています。

新しいことを始めると、どうしてもうまくいかないことがあったり、諦めたくなったりすることがあると思います。でも、目標を達成したときの喜びや成長を実感できたときの嬉しさはとても大きいです。みなさんには様々な困難にぶつかりながらも、いろいろな事に挑戦してほしいと思います。そして保護者の皆さまには、無限大の可能性を秘めた子ども達を支えていただきたいと思います。皆さまと共に、子どもたちの挑戦を応援していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



河和小ホームページをご覧ください

河和小だより「うめがおか」は、河和小ホームページに掲載しています。
また、河和小ホームページでは、河和小だより「うめがおか」では紹介できなかった行事や授業の様子もご覧いただけます。

年間行事予定も掲載されますのでご覧ください。

※河和小学校ホームページアドレス <http://aichi-mihama.ed.jp/kouwaes/>



▲河和小学校
ホームページQRコード

県消防学校一日入校

7月30日（水）に6年生の代表児童2名が「少年消防クラブ員」として、「愛知県消防学校」に一日入校として体験活動に行きました。美浜町と南知多町の各小学校の代表が参加しました。「愛知県消防学校」は尾張旭市にあり、愛知県内の市町村（名古屋市を除く）の消防職団員や自衛防災組織員等に対し、消防防災に関する教育訓練を行う施設です。

ところが、活動が始まると間もなく職員の方から「本日の一日入校は中止します」と参加者に伝えられました。この日の午前8時25分頃ロシア連邦のカムチャッカ半島周辺でマグニチュード8.7の地震のため、津波が発生し、日本の太平洋沿岸の広い範囲に津波警報が発令されたためです。

本来なら、煙道・地震体験（煙の充満した建物内での避難、起震体験装置による建物内での地震体験と対処法）、救急体験（心肺蘇生における胸骨圧迫方法やAEDの使用法）、「ロープ結索体験（「本結び」や「ふたえつなぎ結び」など災害活動や人命救助活動で役立つロープの結び方）、規律体験（隊員の整列や敬礼などの礼式）、放水体験（消防ホースを使った放水）などを実施する予定でした。奇しくも、「津波警報による避難」を体験することとなりました。

今回、参加者に渡されていた「令和7年度少年消防クラブ員の県消防学校一日体験入校実施要項」には「当日の午前6時以降（行事中も含む）に伊勢・三河湾または愛知県外海に津波警報が発令された場合、震度5弱以上の地震が発生した場合は中止する」との記載がされていました。



夏季休業中は

夏季休業中は、児童の皆さんが家庭で課題や読書などに取り組んでいる中、学校ではいくつかの点検や作業が実施されました。

7月23日（水）は教職員で、プールの片付け（監視台やコースロープ、プールサイドのマットの整備・収納）、放送室やあさがお1組廊下の戸棚や備品の整理、給食トレイカバーの洗濯等が行われました。

8月5日（火）には、学校教育課や教育委員の方々が、体育館の東壁面、プールの床や給水弁、校舎のひさし部分や廊下の劣化の状態などを視察し、修繕費用や工法などを検討しました。

また、8月6日（水）は、知多管内の理科専門の先生方、精鋭11名（本校の中根先生、勢水先生もメンバーです）による理科準備室の整理が行われました。専門的な見地から、効率的に実験の準備や実施、片付けができるように、教具や器具の保管や整頓をしていただきました。

その他に、業者の方による飲料タンクの清掃（清掃日はタンク内を空にして作業するため、半日ほど断水となり、水道やトイレが使えなくなります）や薬剤師さんによる各教室の害虫の有無や空気の点検なども行われました。

学校の校舎や環境は多くの人々の力と技術によって支えられています。



全校出校日

7月18日（金）の終業式から数えること38日目の8月25日（月）は全校出校日でした。教室では、久々に顔を合わせる級友と談笑する様子が見られたり、夏休みの課題の解答の配付や各作品募集の記名の確認などが行われたりしました。配色が美しいポスターや絵画作品、素材の特性を生かした工作、写真や文章でまとめた研究レポートなど優れた応募作品や自由研究も提出されていました。「夏休みの終盤」ということや「連日の猛暑」が報じられる中、児童も様々な「思い」をもっていかとは想像しますが、良い意味で「いつもと変わらない」河和小学校の登校風景でした。



音楽の授業

8月25日（月）の全校出校日終了後、先生を対象に「音楽授業研修」が行われました。講師は、東浦町立緒川小学校の鈴木佳代先生です。

「どうぶつラップ」を例にして、動物名と鳴き声を取り入れ、手拍子と合わせて演奏することで拍とリズムの関係や楽しさを改めて体感したり、「ロックマイソウル」では下パート（低音部）から練習することで合唱として音がとりやすくなることを実際に歌いながら学んだりしました。また、エッグシェイカー（卵形のマラカス）や鈴、タンバリン、木琴を使って器楽合奏を創り上げていく手順も実践しました。

音楽と他教科の違いとして「音が出ること」や、「たくさんの楽器を扱うこと」があります。①楽器を大事に扱う（楽器は高額なのです）②合図で音を止める（早く音が止まる分、たくさん演奏ができます）③音にこだわる（音楽はきれいな音を出したり感じたりする授業です）と説いていただきました。音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるため、今回の研修で学んだことを取り入れていきたいと考えています。

